

輸血を拒否される患者、家族の皆様へ

関西医科大学附属病院 病院長

輸血に関する当院の方針

1. 無輸血治療を希望する患者には、その意思を尊重しできるだけ輸血を回避して最善の治療を行ないます。
2. 輸血以外に生命を維持することができない場合は、無輸血治療を希望する患者にも輸血の必要性を十分に説明し、同意を得て輸血による救命を目指します。十分な説明によっても患者、家族の皆様の同意が得られず輸血同意書がない場合も、救命を本務とする病院、医療者の使命に従って、輸血での救命を目指します。すなわち、当院は相対的無輸血の立場を取ります。
3. 大出血による救急搬入時、加害者の存在する事故や事件、未成年者、妊婦、手術による出血などで、救命のために輸血が不可欠の場合は、患者、患者家族の同意が得られなくとも輸血を行います。